

平成 28 年 12 月吉日

周産期に関わる全ての方へ

第 2 回近畿周産期精神保健研究会会長 船戸正久
(大阪発達総合療育センター副センター長)

第 2 回近畿周産期精神保健研究会開催のお知らせ

新しい年の訪れを感じる師走の慌ただしい頃となりました。皆さま益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

周産期に関わる全ての職種が多職種で協力して、胎児・新生児と家族のこころを支援する実践を目指して、平成 28 年 2 月に窪田昭男会長(和歌山県立医科大学第二外科学長特命教授)の下で第 1 回近畿周産期精神保健研究会が盛大に開催されました。その後を受けて下記の要領で第 2 回研究会を開催することが決まりました。

今回テーマは、「多職種協働で支援する patient & family-centered care(患者・家族中心のケア)」としました。こどもの最善の利益を中心にご家族が望む最善のケアとは何か、多職種協働でその希望をどのように支援するかに焦点をあて、多面的に考えたいと思います。

会長講演として「多職種協働で支援する patient & family-centered care」(船戸 正久)、特別講演として「Perinatal multidisciplinary approach for palliative care」(周産期における多職種協働による緩和ケアアプローチ)(米国 Duke 大学准教授 Margarita Bidegain)の講演をお願いしました。またシンポジウムでは、I.「多職種協働で胎児のいのちをどのように大切に支援するか」II.「多職種協働で支援する NICU からの地域生活移行」をテーマにご家族も含んだ様々な職種から多面的に発表をお願いしました。前日には色々なことをタブー視せず自由に語り合う、事例をから学ぶ「ワールドカフェ」も計画しています。

是非多くの方々が参加していただき、こどもの最善の利益、ご家族の望む思いなどについて多職種で話し合える機会になれば幸いです。

記

■会 長： 船戸 正久(大阪発達総合療育センター小児科)

■会 期： 2017 年 2 月 25(土) - 26 日(日)

25 日(土)14時～17時 ワールドカフェ (定員:60名)

26 日(日) 9時～17時 研究会 (定員:300名)

■会 場： 新大阪丸ビル別館(JR 新大阪東口徒歩 5 分)

■会 費： 5,000 円(昼食代を含む)

* 抄録集は当日 500 円にて販売いたします。

* 事前に入会登録(入会金 5,000 円)をしていただくと、会費・抄録代は無料です。